

## 【用語集】

用語	解説等	用語	解説等
雨水管理総合計画	<p>・下水道による浸水対策を実施する上で、当面・中期・長期にわたる下水道による浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定めることで、下水道による浸水対策を計画的に進めることを目的とするものである。</p> <p>(出典：「雨水管理総合計画策定ガイドライン(案)」R3.6 国土交通省水管理・国土保全局下水道部)</p>	ストックマネジメント計画	<p>・膨大な下水道施設(ストック)の老朽化の進展状況を予測し、リスク評価により優先順位付けを行なったうえで点検・調査及び修繕・改築を実施し、下水道施設(ストック)全体を計画的かつ効率的に管理していくものです。</p> <p>(出典：「下水道施設のストックマネジメント手法に関する手引き(案)」国土交通省水管理・国土保全局下水道部)</p>
想定最大規模降雨	<p>・「想定最大規模」の降雨規模は1000年に1回程度を想定しています。1000年毎に1回発生する周期的な降雨ではなく、1年の間に発生する確率が1/1000(0.1%)以下の降雨です。</p> <p>毎年の発生確率は小さいですが、規模の大きな降雨であることを示しています。</p> <p>(出典：国土地理院)</p>	流域下水道	<p>・二つ以上の市町村の区域にわたる広域的な下水道で、流域内の各市町村から発生する下水を効率的に集めて処理する下水道です。県は幹線管路と下水処理場の整備・管理、市町村は枝線管路の整備・管理を行います。</p> <p>(出典：神奈川県HP)</p>
浸水想定区域図	<p>・洪水予報河川及び水位周知河川に指定した河川について、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、又は浸水を防止することにより、水害による被害の軽減を図るため、想定し得る最大規模の降雨により当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を洪水浸水想定区域として指定し、指定の区域及び浸水した場合に想定される水深、浸水継続時間を洪水浸水想定区域を図面化したもの。</p> <p>(出典：国土交通省HP)</p>	雨水浸透施設	<p>・雨水を効率良く大地に浸透させるための施設です。通常の雨水ますや雨水管と異なり、内部を通る雨水の一部が大地に浸透するような構造をしています。</p>

## 【用語集】

用語	解説等	用語	解説等
雨水貯留施設	<p>・屋根に降った雨水を貯留し、水資源として活用するための施設です。</p> <p>溜まった雨水は庭木への散水や防火用水として利用できます。</p> <p>下水道への接続により不要になった浄化槽を改造した浄化槽型や、地上にタンクを設置する貯留型があります。</p> <p>浸透施設とは、雨水を効率良く大地に浸透させるための施設です。</p>	地下水の涵養	<p>・降雨・河川水などが地下浸透して帯水層に水が補給されることをいいます。市街化の進行に伴い、涵養機能の高い農地・林地・空地などが宅地や舗装道路に変わり、雨水などによる地下水涵養が阻害されつつあります。このため、透水性舗装・浸透ます・浸透トレッチ（みぞ）等による涵養が試みられています。</p> <p>（出典：国土交通省江戸川河川事務所）</p>
下水道施設	<p>・下水道施設は、下水管、ポンプ場、処理場からできています。生活排水などの汚水は、個人の敷地に設けられた排水設備から汚水まずに流れ、汚水管を通じて処理場で処理され、きれいな水になった後、川や海に放流されます。また、雨水は、そのまま水路や雨水管を通して排除され、川や海に放流されます。</p> <p>（出典：松山市HP）</p>	事業場排水	<p>・事業が行われている場所から排出される排水をいう。</p> <p>労働基準法などでは、企業全体ではなく、支社や営業所、店舗、工場のように、組織上、一定程度独立して業務が行われている場所の排水。</p>
樋門	<p>・堤内地の雨水や水田の水などが川や水路を流れ、より大きな川に合流する場合、合流する川の水位が洪水などで高くなった時に、その水が堤内地側に逆流しないように設ける施設です。</p> <p>堤防の中にコンクリートの水路を通し、そこにゲート設置する場合、樋門または樋管と呼びます。</p> <p>（出典：国土交通省山形河川国道事務所HP）</p>	下水道台帳システム	<p>・下水道施設情報を一体としてデータベース化し管理できる地理情報システム（GIS）です。</p> <p>この情報を活用するため、図面検索、ファイリング、工事件名簿、定型出図、集計、データ交換標準の出力等の機能を付加している。</p> <p>（出典：「維持管理情報等を起点としたマネジメントサイクル確立に向けたガイドライン（管路施設編）」国土交通省水管理・国土保全局下水道部、国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部）</p>

## 【用語集】

用語	解説等	用語	解説等
可とう性継手	<p>・弾性を持ち、曲げたり伸びたりする事ができる柔構造を持つ継手の総称です。</p> <p>地震や地盤の不等沈下が発生した際、コンクリート構造物と管や、管どうしを接続する継手部に発生する変位に対して、継手部が有する伸縮部材の形状変形により追随し、コンクリート構造物や管路の破損や漏水を防ぐ事により流下機能を維持する継手です。</p> <p>(可とう継手メーカーより)</p>	DX (デジタルトランスフォーメーション)	<p>・企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。</p> <p>(出典：「デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン」経済産業省)</p>
下水道BCP	<p>・災害が発生した際にリソース（ヒト、モノ、情報等）の制約がある中で、震災後に確保すべき下水道機能にかかる業務を「だれが、いつまでに、どのレベルで、なにをやるか」ということなどを具体的に定めたものです。</p> <p>(出典：「下水道BCP策定マニュアル2019版」国土交通省水管理・国土保全局下水道部)</p>		
総合地震対策計画	<p>・重要な下水道施設の耐震化を図る「防災」、被災を想定して被害の最小化を図る「減災」を組み合わせた総合的な地震対策を計画し、推進すること。</p> <p>(出典：国土交通省HP)</p>		